

## 高校生ユージン研修参加者の“声”（13名中）

◎あなたがこの研修に応募した動機・目的を教えてください。（複数回答有）

アメリカの大自然を見たかった	2名
日米文化を比較したかった	1名
アメリカ人の生活や考え方を知りたかった	5名
ホームステイをしたかった	5名
自分の英語力を試したかった	8名
国際感覚を身につけたかった	3名
アメリカに行ってみたかった	4名
親にすすめられた、兄弟姉妹が行った	3名
海外に行きたいと思った	6名

◎ホストファミリーとの交流はどうでしたか

a とても楽しく交流できた	11名
b だいたい交流できた	2名

◎もっとも印象に残ったこと、感動したこと

- ・ホームステイでは、ホストファミリーが家族のように接してくれてとても良かった。たくさん話しかけてくれたり、一緒に陶芸をしたり、いろんな場所につれて行ってくれたことなど全てに感謝している。
- ・アメリカ人が想像以上に優しく温かかったこと。
- ・アメリカの大学生の積極性に驚きました。
- ・高校の人達の日本語がとても上手だったこと。
- ・ケーキがすごく甘かったこと。
- ・ロサンゼルス語学研修。
- ・アメリカ人の考え方について。
- ・ロサンゼルスのビーチの美しさ。
- ・アメリカの大自然などの全てにおける規模の大きさ。

## ◎研修で得たもっとも大きなこと

- ・積極的に行動できるようになった。
- ・自分が英語をどのくらい話せるのかわかった。話せる自信がついた。
- ・文法が整ってなくても、間違った使い方でも、伝える気持ちや話そうとすることが大切！
- ・外国の高校生の学習状況を知ることができたこと。
- ・知らない人とでも積極的に話ができるようになった。
- ・友達との思い出。
- ・日本は狭かったということを知ったこと。
- ・海外で実際に生活できたこと。
- ・考え次第でどうにでもなるということ。
- ・ホームステイに参加する前よりリスニング力が上がったと思う。

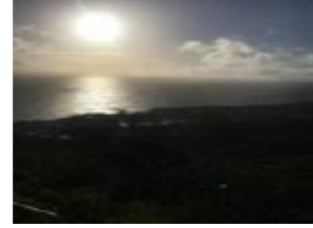
## ◎この研修に参加しようか迷っている高校生へのメッセージをお願いします。

- ・最初は緊張するけどだんだん話すのが楽しくなります。英語が苦手だからといって恐れることはありません。
- ・迷っているなら行くべきです。想像よりもずっと楽しい素敵な体験です。
- ・思っている以上のものが得られるので、とても良い経験になると思います。私はこの研修に参加して満足しています。
- ・新しい発見がたくさんできる。自分の体全部でアメリカを感じてみよう！
- ・最初迷っていたけど、海外に行き、英語を学びたくて参加しようと決意しました。
- ・私は人見知りだったけど自分から積極的に英語で話せることができました。
- ・ホームステイ先の人達は基本的に優しくて歓迎してくれるので安心して大丈夫。
- ・この研修に参加したら、身の回りのことに対する視野が広がりました。

# 私を成長させてくれた10日間

高校1年 女子

この春、私は大きな期待と不安を抱き、日本を出発しました。この研修で私はたくさんを経験し、学びました。英語を学ぶのはもちろん、日本とアメリカの文化や考え方の違い、気候、食生活、街並みなど、肌で感じ、経験することが出来ました。



この研修に参加して一番考えたことは、英語力のことです。大学で授業を受けましたが、一緒に授業を受けたクラスの人が話す英語は、ネイティブの人が話しているかのように流暢に聞こえました。生徒と話すとき、生徒が話しているのをあまり聞き取ることができない、質問に答えるのにも何回か聞き返さないと理解できない。私は自分の英語力の無さを痛感しました。それと同時に英語を話すことが出来ないということに恥ずかしさを覚えました。文法、ライティングができるのと、スピーキング、リスニングができるのでは、全く別物であるということ、身をもって体感しました。机の上の勉強ばかりやっても、話せるようにはならないということを知ることができただけでも大きな収穫です。

今回の研修で、私はたくさん思い出を作ることができました。挙げればきりがなくらいの数々の思い出。どれが一番の思い出ということはなく、それぞれがかけがえのないものになりました。

もう一つ感じたこと、それは日本とアメリカの考え方の違いです。私はもともと髪の毛の癖が強く、コンプレックスを感じていました。ですが、アメリカに行ったとき、ホストファミリーが髪の毛のことをほめてくれたのです。「その髪型、かわいいね。」と。正直、とても嬉しかったです。この出来事は、



アメリカ人の考え方が関係しているのだと思いました。店では、人が乗って座ったまま買物ができるショッピングカートがありました。このことから、アメリカ人は髪の毛のこと、障害のことなどを、その人の個性として認めてくれているのではないのかと思いました。「みんな一緒」ではなく、「みんな違うのは当たり前だ。その人の個性だ」ということが考えとして根付いているのなら、それはすばらしい考えだと思います。この考えは、色々な人種がいる国だからこそできる考えだと思います。今回、髪の毛のことでほめられたのは自信になりましたし、勇気ももらいました。今までの私は、「みんな一緒」という考えに近かったのかもしれませんが、このことで余計コンプレックスを感じていたのかもしれませんが、今回の研修で考え方が変わりました。「人と違っていいから自分に



しかできないことをやろう、個性を出していこう」と思いました。考え方を換え、前向きになることができたのは、この研修のおかげです。

今までの私は、あまり挑戦をしてきませんでした。この研修は、私の人生の大きな「挑戦」です。この研修を機に、これから苦難が待ち受けていようと、どんなことにも挑戦していきたいです。

LA FLS にて

サドルバックシティにある FLS のインターナショナルクラスでは、様々な国の学生が一緒になって英語の授業をする。よって個性豊かな仲間たちと切磋琢磨し、刺激的な経験をすることができる。

授業で僕のペアになった子は、韓国の女学生だった。彼女は僕と 1 歳しか違わないのにクラスで積極的に発言をし、クラスの中心になっていた。僕がついていくことに精一杯だった授業を楽しんでいるその姿に、ただ羨ましく思った。もっと英語を学びたいと、触発された。すべてが英語で話される授業はとてもいい経験になった。普段鍛えているライ



ティングの技能よりも、リスニング、スピーキングの技能を使ってペアの子に、先生に自分の考えを伝える。自分の知っている単語だけで工夫して文をつくる。とても難しく失敗してしまうこともあったけど、興味深い容だった。

FLS 学園内

LA ホームステイ

僕たちが止まったホームステイ先には、70 歳のおばあちゃんが住んでいた。とてもアクティブな方で僕たちをいろいろな所へ連れて行ってきて、飽きることがなかった。

僕たちを気づかってたくさん話しかけてくれたけれど、普段の英語より早くて聞き取ることが難しかった。うまく話せないことが悔しかった。

オレゴン州ユージン ホームステイ

ユージンは LA と比べてのどかで、どこかのんびりとした時間が流れているように感じた。実際車の速度も速くなく、話す英語の速さも聞き取りやすいものだった。

僕たちのホームステイ先は、過去に何度か日本に行ったことがあるほどの日本好きで、この家の文化に理解のある家だった。この家の子供とは、日本のアニメの話で盛り上がりした。

また、アメリカサイズのチキンの店やハンバーガーの店など、アメリカの食文化に直に触れて、圧倒された。

ユージンではこれまでの疲れを癒すことができ、同時に現地の高校生との交流やオレゴン大学の見学などで自身の視野を広げることもできた。とても有意義な体験だった。



現地の高校の日本語クラス



ホームステイ先の家族

# 第11回高校生ユージン研修報告書

高校二年 男子

ユージン市は米国オレゴン州レーン群に位置する、人口15万人の都市だ。  
掛川市は、1979年にユージン市と姉妹都市提携を結んで以来、交流を続けてきた。  
私たちが今回参加したのは2006年に第一回が行われたユージン訪問プログラム、「高校生ユージン研修」である。



ユージン市は豊かな自然に囲まれ、「アートとアウトドアのまち」を推進している。  
私は芸術家のホストファミリーにお世話になり、ハイキングや陶芸を経験させていただいた。  
ユージン市の景色、気候は、どこか掛川市と似た雰囲気を感じさせ、とても過ごしやすいように感じた。

ホームステイ宅の近くにはオレゴン大学があり、建物を見学させていただくことができた。  
オレゴン大学には2万人を超える学生が通っており、教育学部大学院は2008年に全米5位の評価を受けた。  
見学した感想としては、日本の大学と比べるとやはり規模も設備もスケールが大きいように感じた。



今回の高校生ユージン研修を通して、私個人としてはとても貴重な経験をさせていただけたと感じている。アメリカ合衆国での壮大な景色や現地の人々の生活スタイル・考え方をはじめ、実際に訪れることでしか得られないような経験ができた。

最後に、掛川市や国際交流センターのみなさんをはじめ、私たちの研修に携わってくださったみなさんに感謝を申し上げたい。

# My Best Memory

高校一年

女子

## ○日程

- |                            |                                |
|----------------------------|--------------------------------|
| 3. 19 出発、ロスへ<br>ホストファミリー対面 | 3. 24 ロス出発、ユージンへ<br>ホストファミリー対面 |
| 3. 20～22<br>語学研修           | 3. 25～27<br>ホストファミリーとすごす       |
| 3. 23 ディズニー                | 3. 28 帰国                       |

☆自信になったこと、誇りに思っていること

- ・自分から進んで現地の人達と会話することができた。
- ・自分の英語で会話ができる。
- ・親に頼ることの出来ない環境で九日間無事に過ごすことが出来た。
- ・ホストファミリーと短期間で信頼関係を築くことが出来た。

☆悔しいと思っていること、今後に向けての課題

- ・聞く力が足りずホームステイメンバーの力を借りてしまうことが多々あった。
- ・ボキャブラリー不足で、伝えたいことを思うように言えなかったり、話を完全に理解できなかったりすることがあった。

<b>keep</b>	<b>improve</b>	<b>stop</b>	<b>start</b>
積極的に行動する	躊躇をしない	人に偏見を持つ	聞く力、単語力の上昇の
アイコンタクトを	優先順位を考え	衝動的にお金を	ための学習
とりながら会話を	て行動する	使う	英語のニュースや映画を
する	計画的にお金を	後先考えずに行	みる
相手のことを理解	使う	動する	日本の文化や歴史をもっ
しようと努める		羞恥心を持つ	と学習する

☆活動を振り返って

このホームステイでの一番の成果は、アメリカのいいところをたくさん発見できたことです。食べ物、人柄、風景、どれも想像以上に素晴らしいものでした。きっとこれらはガイドブックや写真を見ただけでは知ることができなかったでしょう。また、現地の方々と話すことにより、自分の英語に自信が持てました。今まで緊張して話せないでいた学校のALTの先生に今度挨拶を試してみようと思います。そして、ホームステイ・海外に行くことの良さを他の人に伝えていきたいです。貴重な体験をありがとうございました。

